

りんごの収穫を満喫 一枝オーナー30人が収穫体験



収穫体験後、七戸さん(右)と一緒に記念撮影



真っ赤に実ったりんごを収穫する参加者

つがるブランド推進事業の一環として、つがるにしきた農協が主催する「りんご一枝オーナー収穫体験ツアー」が10月21日から2泊3日の日程で行われ、首都圏から抽選で選ばれた一枝オーナー30人がつがる市を訪れ、りんごの収穫体験を楽しみました。

一行は21日、森田町の七戸久嗣さんのりんご畑に到着。食べ頃に熟した「森田ジョナゴールド」を吟味しながらもぎ取って収穫を楽しみ、試食用に準備されたりんごを存分に味わいました。千葉県から参加した今野とよ子さんは「りんごが鈴なりに実っているのを見て感激。地元の人にあたかかさにも触れ、来て良かった」と話していました。その後、参加者は日本最古のりんごの木などを見学ツアーを満喫していました。



「紅絞」が実る日本最古のりんごの木を見学



つがる市の祭り、郷土芸能、食の魅力をPR あomorい10市大祭典



観衆の前で獅子舞を披露する育成小学校児童



中心街を練り歩く落中馬っこ愛好会の馬ねぶた



オープニングセレモニーでつがる市をPR

青森県内10市自慢の「祭り」や「芸能」が集まる「あomorい10市大祭典」が9月21日から23日まで八戸市で開催され、つがる市からは馬市まつりや郷土芸能、特産品販売の各団体が参加し、つがる市の魅力を県内外の観光客らにPRしました。

八戸市中心街で行われた「祭パレード」では、今年の馬ねぶた製作大賞を受賞した落中馬っこ愛好会が登山囃子や踊りとともに馬ねぶたを運行。つがるちゃんもパレードに参加し、沿道の観衆を楽しませました。ステージでは、育成小学校児童が三方荒神鹿島獅子を披露し、また、ごぼう麵やアップルパイなど物産販売も好評で、会場は大いに賑わっていました。